

印西市総合計画基本構想(素案)

市民説明会・市民意見公募を実施

市では、将来のまちづくりの指針となる次期総合計画(計画期間は平成24年度(平成32年度)の策定を進めています。

市民意見公募

意見募集の期間：6月11日(土)～30日(木)。

※基本構想(素案)は、市役所、各支所・出張所・公民館・図書館、または市ホームページで閲覧できます。

●意見を提出できる人：市内に在住、在勤または在学の人。

氏名・連絡先を明記し、企画政策課企画政策班まで持参、郵送 FAX、電子メールにより、提出ください。

「平成23年度の企画提案型協働事業」を募集

市では、市民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、「企画提案型協働事業」を募集します。

●対象事業：原則として単年度事業(平成24年度中に事業が完了するもの)とし、「自由テーマ」で、次の要件を備えた事業で、提案者と市が協働して取り組むことにより、地域社会が抱える課題の解決が図られる事業。

- 満足度が高まり、具体的な成果・効果が期待できる事業。
③協働で実施することにより、相乗効果が期待できる事業。
④協働の役割分担が明確で、提案者の実施が可能である事業。
⑤独創的・先駆的な工夫やアイデアがあり、新しい視点からの取り組みである事業。
⑥予算の積算、見積りが適正と認められる事業。
⑦予算や実施方法、人的資源などから実現、実施が可能と認められる事業。

水は限りある資源です

今、わたしたちの生活は便利になり、蛇口をひねれば、いつでもきれいな水道水が出てきます。

しかし、この「水」は無限にあるわけではなく、水道水は、川の水、ダム、地下水などで、川などから取り入れた水を安心して飲める水道水に変えるために、多くの手間や時間、費用がかかります。

市営水道の概要

市営水道は、大森・木下・小林地区、松崎工業団地、岩戸、大廻、鎌苅、平賀、平賀学園台、山田、瀬戸、吉高地区が給水区域です。

現在、利根川を水源とした浄水を購入して、給水区域内の加入世帯約5,829戸に年間約187万m3給水しています。

長期利用しなかつたときは、旅行などで、長い間家を留守

提案事業に関連する部署との事前相談を行ってください。

50人。
6月17日(金)までに、電話またはメールで左記まで。

企画提案型協働事業説明会を開催

6月18日(土)午前10時～11時。
場文化ホール(大森)。

今、わたしたちの生活は便利になり、蛇口をひねれば、いつでもきれいな水道水が出てきます。

漏水の点検を心掛けましょう
検針票をみて「使用水量が多いな」と思ったら、漏水のチェックをしましょう。

市営水道への加入手続き

家が市営水道の給水区域内にあることが条件となり、工事は指定給水装置工事業者(以下「事業者」)に依頼します。

まず、宅内の蛇口をすべて閉めて、水道を使っていない状態にしてください。

- ①事業者が工事申し込みます。
②事業者が市水道課に工事の申請書を提出し、承認を受けます。
③事業者が図面に基つき、工事を行います。

悪質業者に注意
市の水道課の職員や公的な団体の職員を装い、ご家庭を訪問し、給水管の清掃を勧めたり、検針票だけで料金の支払いを求めたりなどの詐欺行為が発生しています。

- ④工事が完了すると、事業者から市水道課へ検査願いが提出されます。
⑤市水道課職員が図面に基つき検査をします。合格すると給水を開始することができます。

こんなときには、お届けを
水道の使用開始・中止・異動に関する場合は、すべて届出が必要となります。

水道の使用開始・中止・異動に関する場合は、すべて届出が必要となります。その際は、水道料金徴収事務受託者の第一環境(☎8201)までご連絡

広報いんざい市長室

山崎山洋



東日本大震災に伴い夏場における電力不足が想定されるため、広く節電が呼びかけられています。

職員は、将来のまちづくりの指針となる次期総合計画(計画期間は平成24年度(平成32年度)の策定を進めています。

同時に、市役所などの各施設は、次のような節電対策を行っています。事務室内とトイレの電灯の一部消灯。

『広報いんざい』5月1日号で、家庭でできる節電対策としてグリーンカーテンを紹介しました。

夏はこれからが本番です。この夏の電力危機を克服するには、個人・事業者の区別なくすべてのみなさんの協力が必要とされていることをご理解いただき、節電に努めていただくことをお願いします。